2026 年度

野洲市教育研究所だより

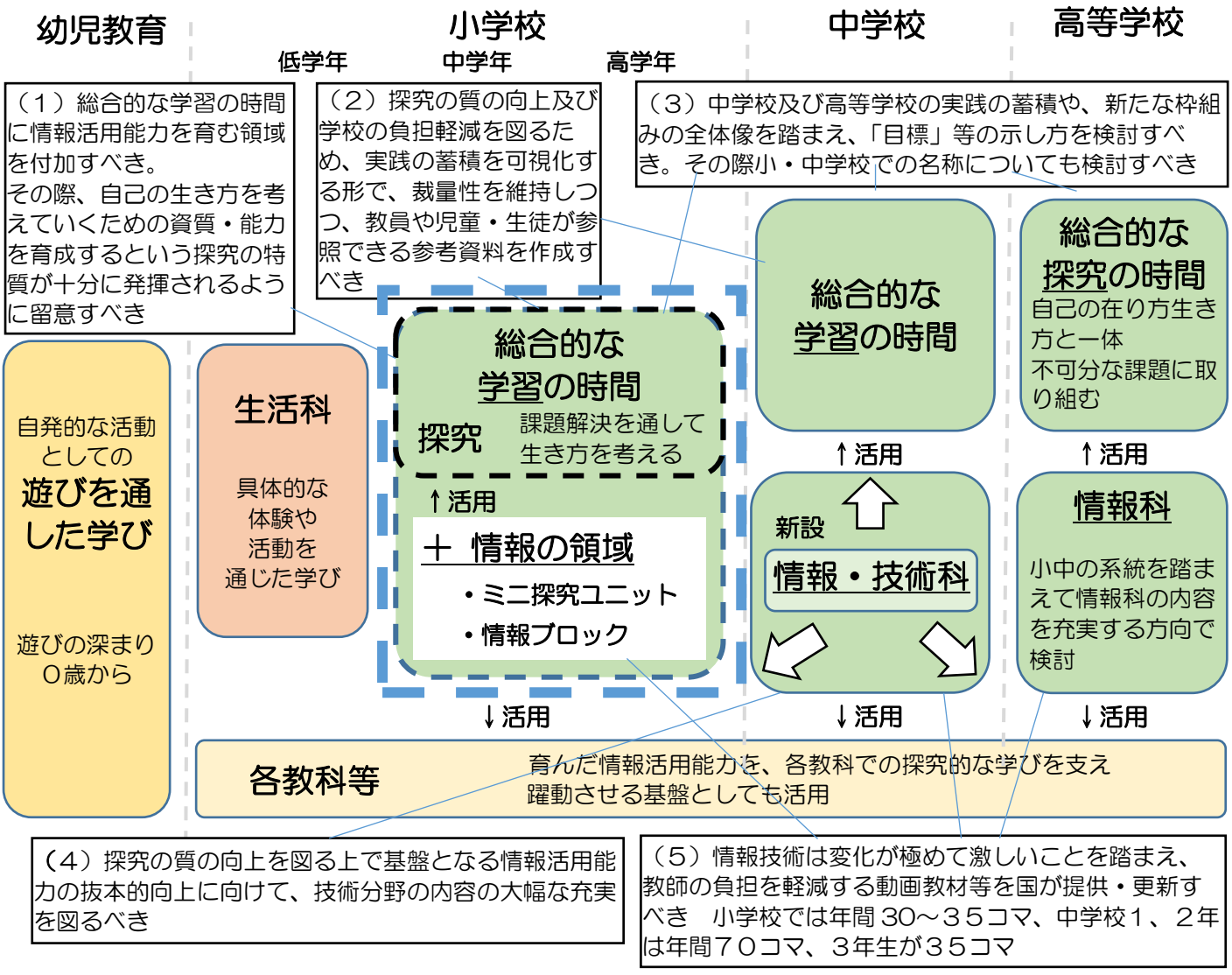
No.14
2026.9.28

これからの授業③

次回の学習指導要領でも、現在の「主体的・対話的で深い学び」が継承されることは、間違いない流れです。それで、どのように変更されていくのでしょうか。教育課程審議会、情報・総合合同部会の論点整理の抜粋資料を紹介します。

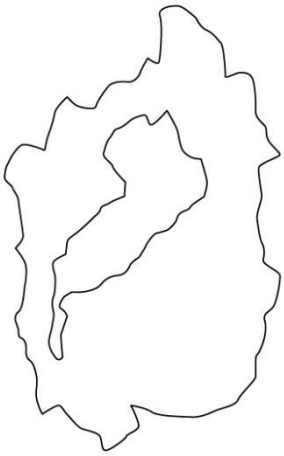
質の高い探究的な学びの実現に向けた新たな枠組み（全体イメージ）

- 主体的に学び、自らの人生を舵取りする力の育成や、多様で豊かな可能性を開花させる教育の実現を図るためには、一人ひとりが初発の思考や行動を起こしたり、好奇心を深堀りしたりする中で、学びを主体的に調整し、自身の豊かな人生やよりよい社会につなげていく**「質の高い探究的な学び」の実現が不可欠**
- この実現に向け、情報活用能力を各教科等のみならず、探究的な学びを支え、駆動させる基盤と位置付け**探究・情報の双方向の観点から大幅な改善を図る**とともに**教育の質向上と教師の負担軽減を両立させる方策**を検討すべき



＊「ミニ探究ユニット」：探究のプロセスにおいて情報活用能力の諸要素を学びながら活用する小単元
＊「情報ブロック」：基礎的なデータの整理や簡単なプログラミングを学ぶ小さなまとまり
＊上記二つで成る「情報の領域」が、現行の「総合的な学習の時間」の 70 時間内になるのかは未定。
＊情報教育については、小学校で２０２８年度、中学校では２０２９年度から段階的な先行実施を行う方向

まなび野洲チャレンジ！　51（県内）



今回はこの問題です。正しい答えの番号はどれでしょう。
答えは、最下段に載せています。

滋賀県の市町村数は、明治 22 年までは 1675 町村ありましたが、自治独立できるものは極めて少なく、全国一律の基準で町村合併が行われました。これが「明治の大合併」で、196 町村に減少しました。

緩やかな減少を続けた中、昭和 28 年に町村合併促進法が施行されました。いわゆる、六・三制実施に伴う新制中学が合理的に運営できる人口規模を念頭に、全国一律に人口 8000 人を標準として町村の合併が進められました。

昭和 31 年には、新市町村建設促進法が施行され、これまで 160 市町村であったものが、昭和 33 年には 53 市町村となりました。これが「昭和の大合併」です。

その後、昭和 45 年に野洲郡守山町に市制が施行されるなど、県内各地で市制・編入・村の廃止で、7 市 42 町 1 村となりました。

平成 11 年に地方分権の推進を図るための関係法律の整備等に関する法律により、旧合併特例法が改正されると、県内各地で合併に向けた取り組みが進められ、この法律の経過措置期限の平成 18 年 3 月末には、13 市 13 町となりました。平成 17 年 4 月から施行された合併新法の下、引き続き合併に向けた取り組みが進み、平成 22 年 3 月に現在の市町となりました。これが「平成の大合併」です。

さて、ここで、問題です。
現在に通じる「平成の大合併」で市町の数は合計でいくつになったでしょうか。

①17　②18　③19　④20

おすすめの図書



『学級経営と授業で大切なことは、ふくろうのぬいぐるみが教えてくれた』
熱海 康太　著　　出版社　黎明書房

初任の教師・花の悩みを、伝説の教師の生まれ変わりであるふくろうのぬいぐるみ「ふっくん先生」が、次々と解決していきます。学級経営と授業の方法、仕事術がストーリー仕立て（対話形式）ですらすら分かる新しい教育書です。初任者、若手教師からベテラン教師まで深く学んでいただけます。

- そもそも子どもたちが話を聴かないんですが！―学級経営編
- 休み時間後、なかなか座らず授業が始められないのですが―学級経営編
- 子どもたちだけで話し合うなんて、できるのかな―学級経営編
- まずは、授業の「導入」を考えよう―授業編
- 授業で学級を作るためには「学び合え」！「展開」の2―授業編
- 授業の最後、「振り返り」はどうしましょう―授業編
- 事務仕事が、全然、終わらないのです―仕事術編
- どうしても、どうしても、苦手な人がいるんです―人間関係編
- 教師として、人間として、もっと大きくなりたい―これからの成長編